



まち活通信

～みんなで実践するまちづくり活動情報～ 18

2016年1月 女川町まちづくり推進協議会事務局

第2回公園づくりワークショップ

「震災遺構と次世代に伝えること」

11月19日 役場第2会議室 参加者39人



町では津波により倒壊した旧女川交番を震災遺構として保存し、周辺をメモリアル公園として整備する方針のもと、計画を進めています。今回のワークショップでは、震災を通じ、「誰に、何をどのような方法で伝えていきたいか」について、中高生から70代までの各世代がそれぞれの思いやメッセージを共有し、震災遺構保存の意義とその活用方法について意見交換しました。

●何を伝えたい？

世界中の人々に、津波・震災の恐ろしさ、防災の大切さ、支援への感謝を伝えたい

命をつなぐこと、逃げることの大切さを伝えたい

生きていれば必ず復活できることを、女川の歩みをもって世界中に伝えたい

●どうやって伝えたい？

震災遺構だけじゃ言葉は伝わらない。震災があって、いい意味でも悪い意味でも人生が変わったことを遺構の周りで、メッセージで伝えたい
(例：人生180度変わったシアター)

交番の周りをぐるぐると上り下りでき、そのらせん状の部分に震災直後から復興までのプロセスを展示したい

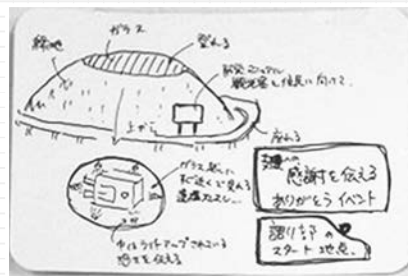
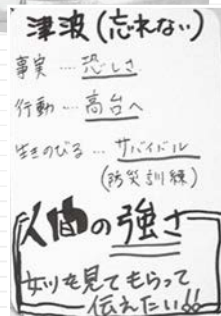
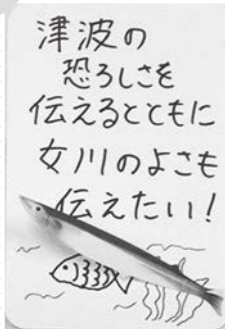
高上げ前の地盤高まで降りられるようにしてほしい。また、津波高が分かるよう、遺構近辺に津波高を示すポール等を設置してほしい

震災体験者がいなくなってもこの震災を伝承できるように、学校の防災教育として取り入れてほしい

今の女川町があるのは、世界中からの支援があったからこそ。支援への感謝を記念碑に記したり、歌や映画等で表現したい



震災遺構を見たくもない人への配慮も必要。「水のカーテン」で遺構を隠すのもいいかも



紙面上ではみなさんの意見・メッセージをすべてご紹介することはできませんが、どれも熱い思いが詰まった意見・メッセージでした。町では今後みなさんからいただいたご意見を踏まえ、専門家と協議しながら、メモリアル公園整備の基本設計を進めていきます。

「やねだん」の豊重さんが来町しました！

鹿児島県鹿屋市柳谷集落(通称：「やねだん」)で、「行政に頼らないまちづくり」を実践されている豊重哲郎さんをお招きし、講演会と懇談会を開催しました。

●講演会

「住民自治による地域再生」

～「やねだん」に学ぶまちづくり～

12月4日 役場第2会議室 参加者47人

豊重さんはマイクを使わず、時にパワフルに身振り手振りを交えて熱く語ってくれました。

【講演概要】

- 地域づくりで一番大切なのは土台づくり。
- 半径100メートルの住民の名前をフルネームで覚えることからまちづくりは始まる。名前と呼ばれると人は動く。
- 人は「引き出される」と本気になる。出番を作って引き出すことが重要。
- 地域には地域づくりに無関心な人、反目する人たちがいる。まちづくりを進める上で、地域にどんな人がいるのかという分析は不可欠。
- 無関心な人たちをやる気にさせられるか。そのためには、「目配り」「気配り」「心配り」。
- 「体力」「忍耐力」「経済力」「肉体力」、リーダーには全て必要。笑顔で、社会に貢献することを目標に、このまちの地域再生にも尽力してほしい。やねだんからエールを送ります。



●豊重さんを囲んでの懇談会

12月5日 運動公園住宅6号棟内コミュニティプラザ 参加者6人

各々のまちづくりの取組みの課題や悩みに対するヒントをいただきました。

- Q** 予算や人が足りない中で、集合住宅でのコミュニティづくりをどうすればいいのか？
- A** 生産性を見込んだ人財育成、グループ作り。地域にはコミュニティづくりに有効な技術を持った住民がいる。
- Q** 自主財源確保の考え方は？
- A** コミュニティビジネスでの確保だけでなく、コミュニティ活動で得られる「健康」による医療費削減効果などが証明できれば、それが大きなプラスとなる。
- Q** コミュニティに無関心な人に参加してもらうには？
- A** まずは子どもを組織化。子どもたちがまちづくりに動けば、親世代も必ず動いてくれる。

まち活実践コースも開催中！

11月20日に「趣味と実益を兼ねたリメイク術」の第3回が開催されました。今回は、講師が途中まで形にしたシュシュの仕上げ作成と、針と糸を使わない簡単なリボンのピン止め作りを実践。本コースの集大成として、「フリーマーケットに出品したい！」という意見も出て、復幸祭での出品・販売も検討することになりました。



◆問合せ先 女川町まちづくり推進協議会事務局(役場復興推進課復興調整係)

☎54-3131内線291 Eメールアドレス：fukko7@town.onagawa.miyagi.jp

◆まち活フェイスブック で検索